

# 高知県感染症発生動向調査（月報）

2016年10月

高知県感染症情報センター  
 高知県衛生研究所  
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>  
 E-mail : 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

## 全国情報

第40週(10月3日～)から第43週(～10月30日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における10月の上位6疾患の合計は45.45で9月の4週間換算値38.51に比べて増加した。増加の理由は、上位6疾患が全て増加したことによるが、中でもRSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎、感染性胃腸炎、手足口病の増加が目立っていた。1位は感染性胃腸炎で16.74と9月の4週間換算値14.36に比べ増加した。2位はRSウイルス感染症で7.91(9月4位5.15)、3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で6.30(同2位5.60)と増加した。4位はマイコプラズマ肺炎で5.63(同6位3.76)と増加し、統計をとりはじめて最多の報告数を記録したことが、複数のメディアで報じられた。5位は手足口病で4.58(同8位3.28)、6位が流行性耳下腺炎で4.29(同5位4.11)と増加した。

8月から麻疹が流行している。第34週～38週に88名の患者が報告されたが、10月の39週～42週は21名で減少に転じた。2016年の累計は155名(うち検査診断例が96例)となり、昨年を大きく上回っている。10月も、東京で6名、神奈川で3名、大阪で3名と、まとまった報告があった。

表1 各週定点当たり報告数(全国)

No	疾病名	週	40週	41週	42週	43週	計
1	感染性胃腸炎		3.69	3.43	4.36	5.26	16.74
2	RSウイルス感染症		2.32	2.02	1.90	1.67	7.91
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.61	1.28	1.72	1.69	6.30
4	マイコプラズマ肺炎		1.33	1.23	1.61	1.46	5.63
5	手足口病		1.39	1.09	1.04	1.06	4.58
6	流行性耳下腺炎		1.11	0.94	1.27	0.97	4.29

## 県内情報

### 1. 全国との対比(定点当たり報告数)

高知県の10月の上位6疾患の合計は36.12と9月の4週間換算値26.37に比べ増加したが、全国よりも少なかった(表2)。増加の原因は上位6疾患すべての増加であり、特に増加が目立ったのはRSウイルス感染症と感染性胃腸炎である。全国の値と比べると咽頭結膜熱を除く5疾患はいずれも少ない報告数だった。

1位は感染性胃腸炎で、13.99と9月の4週換算値10.08に比べ増加したが全国よりも少なかった。2位はRSウイルス感染症で6.10(9月5位2.32)と2.6倍に増加、3位はマイコプラズマ肺炎で4.88(同2位4.51)、4位は咽頭結膜熱で4.26(同3位4.08)といずれも微増した。5位がA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で3.59(同4位3.12)と前月につづいて増加を続け、6位は流行性耳下腺炎で3.30(同6位2.26)と増加した。

表2 各週定点当たり報告数(高知県)

No	疾病名	週	40週	41週	42週	43週	計
1	感染性胃腸炎		2.93	3.43	3.53	4.10	13.99
2	RSウイルス感染症		1.47	1.50	1.63	1.50	6.10
3	マイコプラズマ肺炎		0.75	1.00	2.00	1.13	4.88
4	咽頭結膜熱		1.30	0.93	0.93	1.10	4.26
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.70	0.73	1.03	1.13	3.59
6	流行性耳下腺炎		1.17	0.43	1.10	0.60	3.30

## 2. 全体の傾向

麻しん、風しんの報告無し。

## 3. 主な疾患の発生状況

### 1) インフルエンザ

報告数 0名 (9月 0名)。全国的には第34週以降に報告が増加しており、例年の同時期に比べてかなり多いが、本県では報告はゼロであった。ただし、報告がないのは本県をのぞけば青森県だけであり、動向が注目される。

### 2) 咽頭結膜熱

報告数 128名 (9月 153名)。安芸と幡多を除く地域から報告され、高知市、須崎で多く報告された。同時期としては過去10年で最も多い報告数である。咽頭結膜熱の患者からのウイルス検出はなかったが、手足口病の臨床診断の患者検体からAdenovirus 3が1件、感染性胃腸炎の患者からAdenovirus 41が1件検出された。

### 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 108名 (9月 117名)。2014年10月以降多い報告数が続いていて、2015年12月以降は2016年3月に至るまで、同時期として過去10年間では最大の流行となった。2016年5月はほぼ平年並み、6月は再び増加した。7月以降減少に転じたものの9月には再びゆるやかに増加を続けている。同時期としては平年並みの数となった。県下全域から報告があり、特に高知市、須崎、安芸からの報告が多い。病原体としては *Streptococcus agalactiae* が1件検出された。

### 4) 感染性胃腸炎

報告数 420名 (9月 378名)。県下全域から報告があり、中央東、高知市、安芸、幡多の順に多く報告された。病原体としてはAdenovirus 41とEchovirus 30が各1件検出された。ロタウイルスは2011年11月に任意ワクチンが導入されて2013年11月からサーベイランス調査が開始された。ロタウイルス胃腸炎は、3月に増加し、2013年11月以降では最多の患者数(101名)が報告されたが、4月は36名、5月は13名、6月は1名、7月～9月はともに2名、10月は1名と減少している。

### 5) 水痘

報告数 39名 (9月 60名)。幡多以外の地域から報告があり、高知市、中央東から報告が多い。10月の報告数としては過去10年で最も少ない報告数であり、2015年からの水痘ワクチン定期化の効果と思われる。

### 6) 手足口病

報告数 52名 (9月 27名)。初夏に流行が始まる感染症で、例年通りの立ち上がりで、7月以降減少していたが、10月に再び増加に転じた。中央東以外から報告があり、特に中央西からの報告が多い。手足口病の患者からCoxsackievirus A6、Adenovirus 3、HHV6、HHV7が各1件ずつ検出された。

### 7) 伝染性紅斑

報告数 27名 (9月 36名)。2015年以降、全国的に例年に比べて多い傾向で推移している。高知県からの報告は全国に比べて多い。高知市、幡多、中央東から報告があり、表記の順に多かった。ウイルスは検出されていない。軽症のことが多く、医療機関を訪れる機会も少なく流行状況の正確な把握が難しい側面がある。流行が続けば、成人の関節炎、貧血発作 (Aplastic crisis)、流産、胎児水腫といった合併症が増加する可能性があり、注意を要する。

### 8) 突発性発疹

報告数 47名 (9月 62名)。想定内の変動で推移している。

### 9) 百日咳

報告数 9名 (9月 19名)。須崎、中央西、高知市、幡多から表記の順に多く報告された。細菌は *Bordetella pertussis* のゲノムが6件検出された。高知県では百日咳の入院例に限定した全数調査が2016年から開始されている (厚生労働省班会議研究の拠点調査)。

10) ヘルパンギーナ

報告数 29名(9月 50名)。例年6-7月から流行がみられるが、今季は、通常の流行の立ち上がり、規模ともに小さかった。幡多、高知市、中央西から表記の順に多く報告された。ウイルスはCoxsackievirus A2が1件検出された。

11) 流行性耳下腺炎

報告数 99名(9月 85名)。全国的にも増加が報告され注目されている。高知県でも6月に倍増し、流行が危惧されたが、7月は半減し、例年の流行レベルとなった。中央西以外から報告があり、中央東、高知市、幡多で多い。1歳女兒からMumps virusが1件検出されている。

12) RSウイルス感染症

報告数 183名(9月 87名)。県下全域から報告され、高知市、中央東、から報告が多かった。ウイルスは検出されていない。

13) 流行性角結膜炎

報告数 0名(9月 5名)。ここ3年間は一桁で推移している。

14) 細菌性髄膜炎(基幹定点の報告疾患)

報告数 0名(9月 4名)。

15) 無菌性髄膜炎(基幹定点の報告疾患)

報告数 1名(9月 3名)。高知市の0か月児の髄液からCoxsackievirus B3が1件検出された。

16) マイコプラズマ肺炎(基幹定点の報告疾患)

報告数 39名(9月 45名)。幡多、中央東、高知市から表記の順に多く報告された。同時期としては過去10年間で最も多く報告された。同じ傾向が全国でみとめられ、各種メディアで報道された。多数の報告が続く幡多地域では、臨床的にマクロライド系薬剤耐性であり、抗菌薬選択に注意を要する。細菌は検出されなかった。

基幹定点の月報疾患

17) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 23名(9月 15名)。例年並みの数で推移している。

18) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名(9月 0名)。2014年は計4例、2015年は1例のみであった。2016年は1例報告されている。

高知県感染症発生動向調査部会

前田 明彦

## 高知県における月別全数報告疾患（平成28年10月）

類型	病名	報告月										総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
2	結核	9	7	13	10	7	13	10	18	12	9	108
3	腸管出血性大腸菌感染症						1	4	1	28		34
4	A型肝炎			1								1
	つつが虫病							1				1
	日本紅斑熱	1	1		2	1	2		2	1	1	11
	重症熱性血小板減少症候群	2		1	1				2	1		7
	レジオネラ症						2					2
5	アメーバ赤痢						1					1
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症		3	1	2		3	2		3	3	17
	後天性免疫不全症候群	1	1	1	2				1	1	2	9
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2			1							3
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	1	3	2	1	1		1		1	14
	水痘（入院例に限る）					1						1
	破傷風					2				1		3
	梅毒		1	2	2		2	1	2	1		11
	急性脳炎			1								1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1			1		1			3
	総計	19	14	24	22	12	26	18	28	48	16	227

# 高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

2016年

10月

定点名	疾病名	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
内科・小児科	インフルエンザ										2
小児科	咽頭結膜熱			17	96	7	8		128	153	8
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	17	60	5	9	11		108	117	174
	感染性胃腸炎	26	135	199	7	9	44		420	378	223
	水痘	2	11	22	2	2			39	60	48
	手足口病	5		9	34	3	1		52	27	255
	伝染性紅斑			3	20			4	27	36	19
	突発性発疹	4	5	23	5	3	7		47	62	50
	百日咳				3	2	3	1	9	19	4
	ヘルパンギーナ				16	1		12	29	50	27
	流行性耳下腺炎	1	52	30			4	12	99	85	47
	RSウイルス感染症	5	55	98	13	2	10		183	87	249
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎									5	
STD	性器クラミジア感染症									2	
	性器ヘルペスウイルス感染症										
	尖圭コンジローマ			1					1		
	淋菌感染症									1	
基幹	細菌性髄膜炎									4	1
	無菌性髄膜炎				1				1	3	2
	マイコプラズマ肺炎		4	19				16	39	45	22
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									2	7
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに 限る)				1				1	2	3
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2	1	18				2	23	15	12
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症										
	薬剤耐性緑膿菌感染症										2
計		51	301	615	76	43	120	1,206	1,153	1,155	
前月		52	201	596	97	71	136				
前年同月		59	233	559	101	29	174				
小児科定点数		2	7	11	3	2	5				

# 高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

2016年

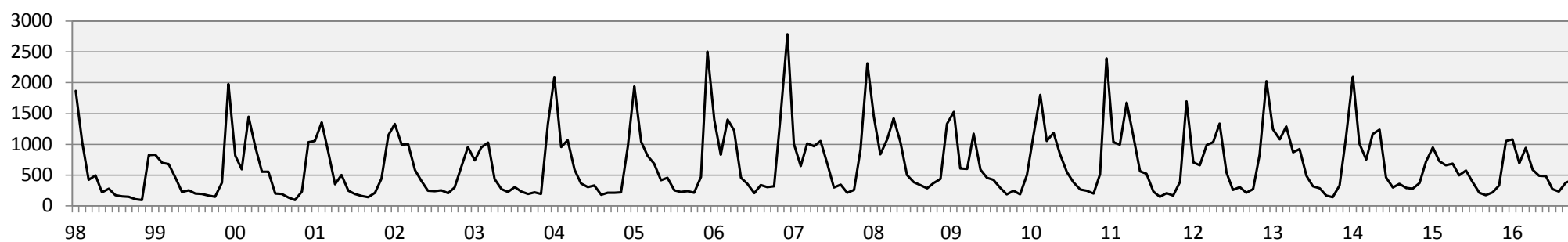
10月

定点当たりの人数

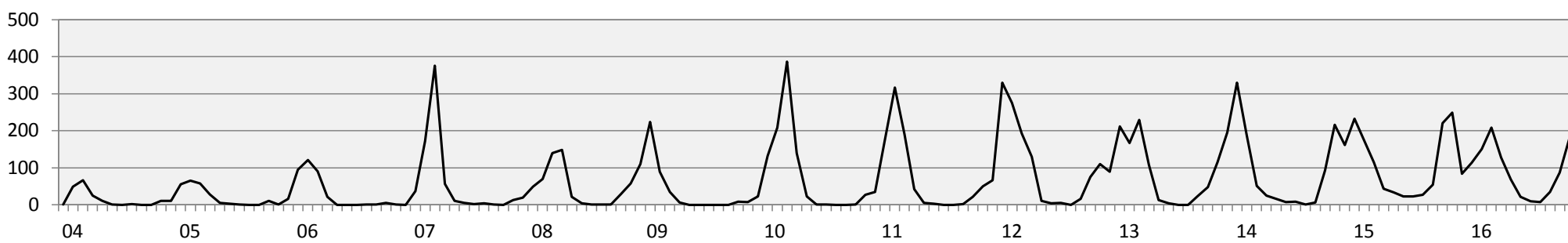
定点名	疾病名	保健所							計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				
内科・小児科	インフルエンザ										0.04
小児科	咽頭結膜熱		2.42	8.73	2.33	4.00		4.26	5.10	0.26	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.00	2.43	5.45	1.67	4.50	2.20	3.59	3.90	5.80	
	感染性胃腸炎	13.00	19.29	18.09	2.33	4.50	8.80	13.99	12.60	7.43	
	水痘	1.00	1.57	2.00	0.67	1.00		1.30	2.01	1.60	
	手足口病	2.50		0.81	11.33	1.50	0.20	1.73	0.90	8.50	
	伝染性紅斑		0.43	1.82			0.80	0.91	1.20	0.64	
	突発性発疹	2.00	0.72	2.09	1.67	1.50	1.40	1.56	2.07	1.66	
	百日咳			0.27	0.67	1.50	0.20	0.30	0.64	0.13	
	ヘルパンギーナ			1.45	0.33		2.40	0.97	1.67	0.90	
	流行性耳下腺炎	0.50	7.43	2.72		2.00	2.40	3.30	2.82	1.56	
	RSウイルス感染症	2.50	7.86	8.92	4.33	1.00	2.00	6.10	2.90	8.30	
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎								1.66		
STD	性器クラミジア感染症								0.33		
	性器ヘルペスウイルス感染症										
	尖圭コンジローマ		0.50					0.17			
	淋菌感染症								0.17		
基幹	細菌性髄膜炎								0.51	0.13	
	無菌性髄膜炎			0.20				0.13	0.38	0.25	
	マイコプラズマ肺炎		4.00	3.80			16.00	4.88	5.64	2.76	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								0.26	0.89	
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る)			0.20				0.13	0.25	0.38	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2.00	1.00	3.60			2.00	2.88	1.88	1.50	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症										
	薬剤耐性緑膿菌感染症									0.25	
小児科定点分計		24.50	42.15	52.35	25.33	21.50	20.40	38.01	35.81	36.82	
前月		24.50	28.15	49.89	32.30	35.50	22.20				
前年同月		29.50	32.42	47.87	33.50	14.50	32.60				

# 注目される疾患別月別推移

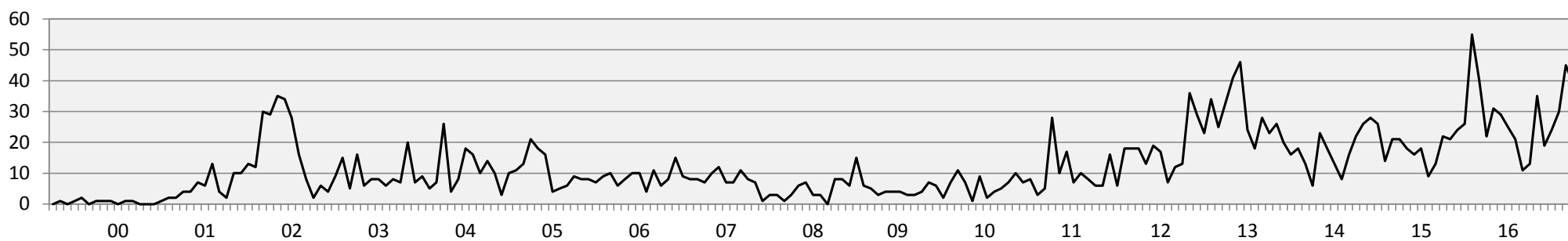
## 感染性胃腸炎



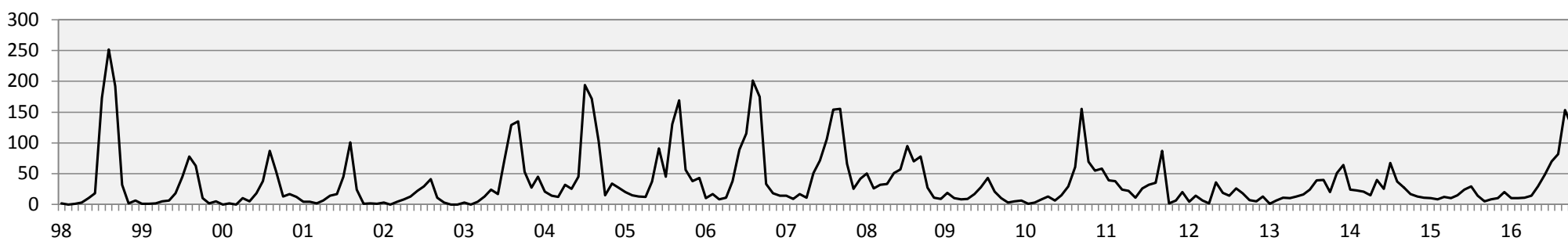
## RSウイルス感染症



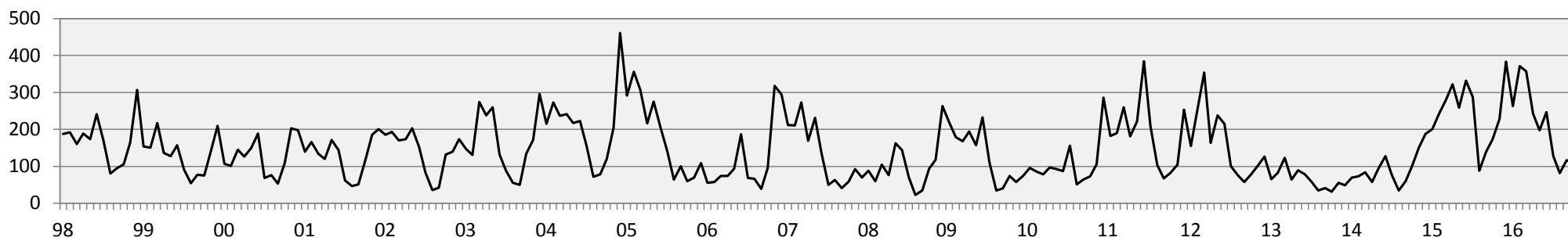
## マイコプラズマ肺炎



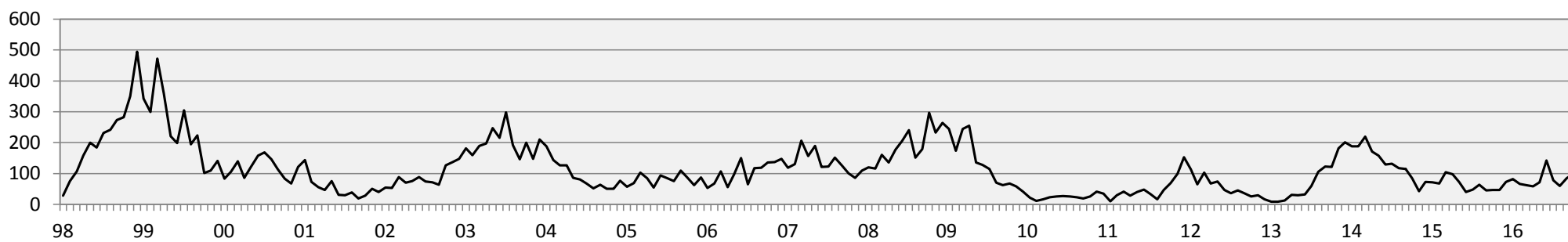
## 咽頭結膜熱



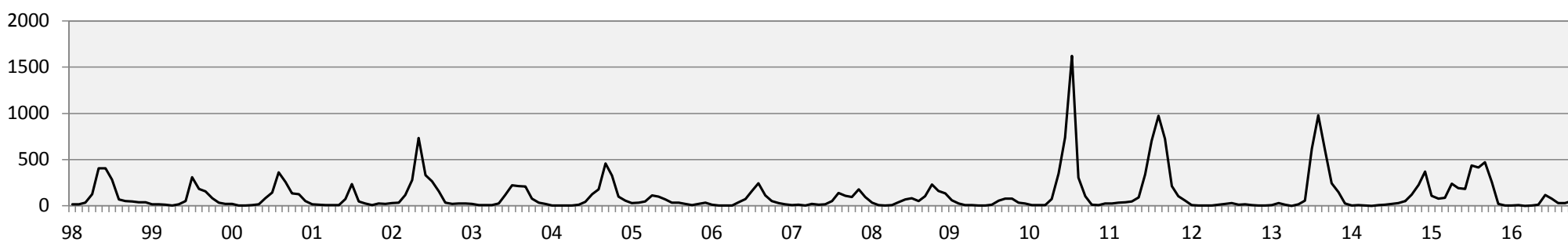
## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



## 流行性耳下腺炎



## 手足口病



## 高知県感染症情報(月報)

平成28年10月

## 検査情報

## ウイルス、細菌の分離状況

10月はウイルス50件、細菌20件の搬入があり、そのうちウイルス15件、細菌7件の病原体を検出し、また、平成28年9月に搬入された検体でウイルス6件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus 3 1件、Adenovirus 41 2件、Coxsackievirus A2 1件、Coxsackievirus A6 1件、Coxsackievirus A14 1件、Coxsackievirus B3 1件、Cytomegalovirus 2件、Echovirus 30 1件、Human herpes virus 6 3件、Human herpes virus 7 2件、Human metapneumovirus 2件、Mumps virus 2件、Norovirus GII NT 2件であった。また、細菌の内訳は、*Bordetella pertussis* 6件、*Streptococcus agalactiae* 1件であった。

## ウイルス、細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	2	女	手足口病	37℃,発疹,	ぬぐい液	9/6	Coxsackievirus A14
2	1	女	感染性胃腸炎	下痢,嘔吐,嘔気,	ふん便	9/15	Norovirus GII NT
3	8	男	無菌性髄膜炎	40℃,	尿	9/16	Cytomegalovirus
4	1	女	—	下痢,嘔吐,嘔気,	ふん便	9/20	Adenovirus 41
5	5	女	伝染性紅斑	37℃,咳漱,発疹,	ぬぐい液	9/21	Human herpes virus 7
6	1	男	上気道炎	39℃,嘔吐,嘔気,上気道炎,	髄液	9/23	Mumps virus
7	10ヶ月	男	—	39℃,下痢,嘔吐,嘔気,	ふん便	9/28	Norovirus GII NT
8	11	女	百日咳		鼻腔	9/28	<i>Bordetella pertussis</i>
9	1	女	インフルエンザ様疾患	39℃,気管支炎,	ぬぐい液	9/30	Human metapneumovirus
10	4	男	百日咳	咳漱,	ぬぐい液	9/30	<i>Bordetella pertussis</i>
11	11ヶ月	女	不明発疹症	38℃,発疹,	ぬぐい液	9/30	Human herpes virus 6
12	1	女	流行性耳下腺炎	39℃,	ぬぐい液	10/3	Mumps virus
13	9ヶ月	女	感染性胃腸炎	38℃,嘔吐,嘔気,	ふん便	10/4	Echovirus 30
14	5	女	百日咳	咳漱,	鼻腔	10/5	<i>Bordetella pertussis</i>
15	11ヶ月	男	手足口病	39℃,水疱,口内炎,	ぬぐい液	10/6	Coxsackievirus A6
16	1	女	ヘルパンギーナ	40℃,	ぬぐい液	10/7	Coxsackievirus A2
				40℃,下痢,発疹,	ふん便	10/8	
17	4	男	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38℃,発疹,	ぬぐい液	10/11	<i>Streptococcus agalactiae</i>
18	5	男	手足口病	39℃,発疹,	ぬぐい液	10/11	Adenovirus 3
19	11	女	百日咳	37℃,咳漱,	ぬぐい液	10/11	<i>Bordetella pertussis</i>
20	3	女	感染性胃腸炎	下痢,腹痛,	ふん便	10/12	Adenovirus 41
21	0ヶ月	女	無菌性髄膜炎	38℃,	髄液	10/12	Coxsackievirus B3
22	1	女	不明発疹症	39℃,上気道炎,発疹,	ぬぐい液	10/14	Cytomegalovirus
23	3	男	百日咳		鼻腔ぬぐい液	10/17	<i>Bordetella pertussis</i>
24	1	女	手足口病	37℃,下痢,発疹,	ぬぐい液	10/22	Human herpes virus 6
							Human herpes virus 7
25	7	女	百日咳	36℃,咳漱,	ぬぐい液	10/22	<i>Bordetella pertussis</i>
26	1	女	—	38℃,咳漱,発疹,	ぬぐい液	10/25	Human herpes virus 6
							Human metapneumovirus



病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2016年										2016年 総計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	<i>Streptococcus agalactiae</i>											1	1
	<i>Streptococcus pyogenes T1</i>	1				1							2
	<i>Streptococcus pyogenes T4</i>	1				2							3
	<i>Streptococcus pyogenes TB3264</i>					1							1
	Epstein-Barr virus	1											1
	計	3				4						1	8
インフルエンザ	Influenza virus A H3 NT	1											1
	Influenza virus A H1pdm09	7	45	10	2								64
	Influenza virus B /Victoria	2	3		1	1							7
	Influenza virus B Yamagata	1	12	8	9	1							31
	Coxsackievirus A4								1				1
	Echovirus 6						1						1
	Human herpes virus 6			1									1
	Human herpes virus 7							1					1
	Respiratory syncytial virus B							1					1
	計	11	60	19	12	2	3	1					108
咽頭結膜熱	Coxsackievirus A4							1					1
	Human herpes virus 6		1										1
	Human herpes virus 7		1										1
	計		2					1					3
感染性胃腸炎	Adenovirus 1												
	Adenovirus 2			3			2						5
	Adenovirus 4								1				1
	Adenovirus 41										1		1
	Adenovirus NT			1					1				2
	Coxsackievirus A9			1									1
	Echovirus 6						1	4					5
	Echovirus 30										1		1
	Epstein-Barr virus			1									1
	Human herpes virus 6						1						1
	Norovirus GII NT	8	1	1	3		1		2	1			17
	Parechovirus 3								1				1
	Rhinovirus				1				1				2
	Rotavirus group A G2			4									4
	Rotavirus group AG3	1											1
	Rotavirus group AG8	1											1
	Rotavirus group A NT		4	1									5
	Sapovirus genogroup unknown			2	2	1							5
	<i>Salmonella Enteritidis</i>										1		1
	<i>Enteropathogenic Escherichia coli</i>	1											1
<i>Enteropathogenic Escherichia coli</i> O126 : H27 aggR				1								1	
計	11	5	14	7	1	5	5	5	2	2		57	
ヘルパンギーナ	Adenovirus 41						1					1	
	Coxsackievirus A2									1		1	
	Coxsackievirus A4						1	1				2	
	Coxsackievirus A10		2									2	
	Human metapneumovirus							1				1	
	計		2				3	1			1	7	
手足口病	Adenovirus 3										1	1	
	Coxsackievirus A6										1	1	
	Coxsackievirus A14				1				2		1	4	
	Cytomegalovirus								1			1	
	Enterovirus NT					2	2	4				8	
	Human herpes virus 6										1	1	
	Human herpes virus 7								1		1	2	
	Parechovirus 3								1			1	
	Rhinovirus						3	1				4	
	計				1	2	5	10			1	4	
伝染性紅斑	Human herpes virus 7									1		1	
	human parvovirus B19 virus	1	1									2	
	Respiratory syncytial virus A		1									1	
	計	1	2								1	4	
百日咳	<i>Bordetella parapertussis</i>		1									1	
	<i>Bordetella pertussis</i>	2	5	4	4	5	8	3	4	10	6	51	
	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		1				1	1	1	1		5	
	計	2	7	4	4	5	9	4	5	11	6	57	

臨床診断名	病原微生物	2016年										2016年 総計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
流行性耳下腺炎	Mumps virus					1						1	2
	計					1						1	2
無菌性髄膜炎	Coxsackievirus B3											1	1
	Cytomegalovirus										1		1
	Echovirus 6						2	3	1				6
	Echovirus 30										1		1
	Human herpes virus 7	1								1			2
	Mumps virus									2			2
	Parechovirus 3									1			1
	Parainfluenza virus 3									1			1
	Rhinovirus												
	Respiratory syncytial virus A												
	計	1						2	6	3	2	1	15
マイコプラズマ肺炎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		1		1					1			3
	計		1		1					1			3
RSウイルス感染症	Respiratory syncytial virus A										1		1
	計										1		1
水痘													
	計												
突発性発疹	Coxsackievirus A4					1							1
	Cytomegalovirus									1			1
	Human herpes virus 6					2					1		3
	計					3				1	1		5
その他	Adenovirus 2	1											1
	Adenovirus 41										1		1
	<i>Bordetella pertussis</i>				1								1
	Coxsackievirus A4								2				2
	Coxsackievirus A14	1											1
	Coxsackievirus A16												
	Cytomegalo virus	4		4	1			1	1			1	12
	Echovirus 6						3	1	1				5
	Echovirus 18				1								1
	Enterovirus NT					1	2						3
	Epstein-Barr virus	3					2						5
	Herpes simplex virus 1	1											1
	Human herpes virus 6	2	4		1		2			2	2		13
	Human herpes virus 7	3	1	2	1	1		1		1			10
	Human metapneumovirus					2	1		7			2	12
	human parvovirus B19								1				1
	Mumps virus										1		1
	Norovirus GII NT											1	1
	Parainfluenza virus 1						1						1
	Parainfluenza virus 3					1	2		2	1			6
	Respiratory syncytial virus A	2	4						1				7
	Respiratory syncytial virus B	1		2									3
Rhinovirus	2	1	3	2	3	1	1					13	
Rotavirus group A G2			1									1	
計	20	10	12	7	8	14	8	11	6	6	6	102	
総計	49	89	49	32	26	42	35	26	25	22	22	395	

類型	病名	報告年																												総計																																				
		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28																																															
2	結核																											131	149	163	156	192	132	128	138	131	108	1428																												
	計																											131	149	163	156	192	132	128	138	131	108	1428																												
3	コレラ	1																											1	3																																				
	パラチフス	2																											1	2																																				
	細菌性赤痢	11	4	2	3		1	2	2																											25																														
	腸チフス	1																											1	3																																				
	腸管出血性大腸菌感染症	11	8	18	15	2	10	9	3	25	4	19	12	3	8	3	5	2	34	191																																														
	計	25	13	20	15	5	12	11	6	25	4	19	13	3	8	3	5	3	34	224																																														
4	A型肝炎	3	5	3	2	4	2	1	4	1																											3	1	32																											
	Q熱	1	1	2																											1	5																																		
	オウム病																											1	2																																					
	つつが虫病																											9	5	2	4	5	6	7	2	5	4	2	5	8	3	3	1	71																						
	マラリア																											2	3																																					
	レジオネラ症	2	1		1																											9	7	3	6	9	2	4	4	2	50																									
	日本紅斑熱	15	3	14	7	14	13	10	3	1	6	6	7	15	4	1	7	4	11	141																																														
	日本脳炎	1	1	1																											1	6																																		
	レプトスピラ症																											1	8																																					
	E型肝炎																											1	2																																					
	デング熱																											1	7																																					
	重症熱性血小板減少症候群																											3	11	3	7	24																																		
		計	20	21	26	12	23	21	18	17	4	20	19	18	31	24	13	27	15	22	351																																													
	5	アメーバ赤痢																											2	2	2	1	2	2	2	1																											3	2	3	1
ウイルス性肝炎		11	4	3	5	2	2	3	5	5	4	3	3																											3	1	54																								
カルバペネム耐性腸内細菌感染症																												7	19	17	43																																			
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	1	4	4		3	3																											6	1	3	28																												
ジアルジア症		1	2	1																											1	7																																		
バンコマイシン耐性腸球菌感染症																												1	3																																					
急性脳炎																												1	1	2	5	1	3	1																											1	1	1	17		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症																												1	13																																					
後天性免疫不全症候群		2	2		2	4	2	3	6	3	3	2	3	3	2	7	6	9	59																																															
侵襲性インフルエンザ菌感染症																												1	5	3	9																																			
侵襲性肺炎球菌感染症																												1	4	12	14	31																																		
水痘(入院例に限る)																												2	1	3																																				
髄膜炎菌性髄膜炎																												1	1																																					
破傷風		3	2	2	1	1		1	2	3	1	1	1	1																											4	3	3	29																						
梅毒		2	3	4	4	12	9	6	27	6	5	5	2	4	10	8	4	12	11	134																																														
麻しん																											5	5																																						
風しん																											1	1																											4	9	1	16								
	計	16	14	21	15	23	20	17	39	29	25	23	14	15	29	20	40	64	63	487																																														
新型	新型インフルエンザ																											34	34																																					
	計																											34	34																																					
動物	鳥インフルエンザ																											1	1																																					
	計																											1	1																																					
	総計	61	48	67	42	51	53	46	62	189	198	258	201	242	193	164	210	213	227	2525																																														

類型	病名	報告月										総計												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月													
2	結核	9	7	13	10	7	13	10	18	12	9	108												
3	腸管出血性大腸菌感染症											1	4	1	28	34								
4	A型肝炎											1											1	
	つつが虫病											1											1	
	日本紅斑熱	1	1	2		1	2	2		1	1	1	11											
	重症熱性血小板減少症候群	2	1		1											2	1	7						
	レジオネラ症											2											2	
5	アメーバ赤痢											1											1	
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3		1	2	3		2	3		3	17												
	後天性免疫不全症候群	1	1	1	2											1	1	2	9					
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2											1											3
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	1	3	2	1	1	1												1	14			
	水痘(入院例に限る)											1											1	
	破傷風											2											3	
	梅毒	1		2	2	2		1	2	1	2	1	11											
	急性脳炎											1											1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症											1											3	
	総計	19	14	24	22	12	26	18	28	48	16	227												